



ぶどうの枝

2019年
夏号

天が地よりも高いように…（12）

千葉キリスト教会 牧師 磯部 豊喜

今年4月末に「平成」時代が終わり、5月より「令和」時代を迎えました。私の牧師生活で駆け抜けた多くの年月は「平成時代」でした。その「平成時代」での一コマとなる静岡教会では、「引退まで置いて頂きたい」と心に願うほどに楽しい家族的な交わりがありました。ですがわずか4年間を終えたところで望みは絶たれることになりました。それは当時の教区長からの電話の声。その開口一番の言葉は忘れられません。「磯部先生、静岡での四年間のお働きご苦労様でした…、先生にはこの四月から札幌に行って頂きます。」、（えっ、この教区長はいま何を言っているの）と耳を疑いました。普段はお上（かみ）の命令に逆らうことのない従順な牧師（?）でしたが、この時ばかりは黙っていられなくなりました。

静岡にもっと留まっていたいという気持ちを持ち頭をもたげて、「教区長先生、今静岡はご承知のように集会所から教会組織にワンランク成長しました。これからまだまだなのです。再検討してくださいませんか」と抵抗したのです。そして「札幌」という言葉も、私の心身を震え上がらせました。静岡は温暖なところでしたが、札幌は極寒の地と思い込み、「私は寒いところは苦手なのです…」などと「ごたく」を並べました。私の勢いに押されたのか教区長は「では一度宣教委員会に差し戻します」と丁寧に答えて下さいました。ですが、もはや変更はあり得ないと観念しました。その通り二回目の電話では「先生には札幌教会と共に北海道地区長になってもらいたいのので、このまま変更は出来ませんでした」との言



葉でした。

この無念の思いと不安を静岡教会の皆様にお話ししましたら、「磯部先生、札幌は日本人が今一番行きたい所だと言われていますよ」と言って励まして下さいました。

「会うは別れの始め、別れは出会いの始め」なので、心と思いを仕切りなおして多くの不安を抱えて札幌に異動することになります。

ところでその札幌に出立する時に、一つのドラマがあります。次回、お話ししましょう。

「わが思いは、あなたがたの思いとは異なり、わが道は、あなたがたの道とは異なっていると主は言われる。天が地よりも高いように、わが道は、あなたがたの道よりも高く、わが思いは、あなたがたの思いよりも高い」（イザヤ書55:8, 9節）

2019年3月9日（土）「証しと讃美の集い」が持たれました。当日は、太田博司兄と砂長谷和子姉が、証をして下さいました。お二人の証しを以下でご紹介いたします。

「タラント」

千葉キリスト教会 太田 博司

私は、昭和23年6月に北海道愛別町で生まれました。愛別町は旭川市の近くの小さな町です。愛別の由来は、アイヌ語でアイペット（矢のように速く流れる川）と言われています。昭和23年は、戦争が終わって3年目で第一次ベビーブームの時です。父は、戦争前は、警察官をしていましたが、終戦後は、戦後開拓を始めました。当時は食糧難で政府も開拓を政策としていたようです。しかし、条件の良い土地は、すでに開拓されており、山の斜面の条件の悪い土地で畑作をしていました。そういうわけで貧乏な暮らしをしていました。当時は、周りが皆貧乏で、中学を卒業すると半数が就職、半数が地元の農業高校に進学するという状況でした。そんな訳で中学を出たら働きに出るか、家を手伝いながら農業高校に進学するかでした。

幸い学校の担任の先生が「太田さんは優秀なので、進学校の旭川東高校を受験し大学を目指したほうがいい。また学費が大変なら、5年で卒業できる工業高等専門学校がいい。」と薦めてくれました。受ければ絶対に私の父親を説得して学校に行けるようにしてあげるからと約束してくれました。工業高等専門学校は、中堅技術者を育てるという国の政策によってできた学校でした。担任の先生から頂いた算数と英語の参考書で猛勉強しました。当時寒かったので夜は布団の中で勉強しました。その効果もあってか幸いなことに合格しました。当時村で初めての高専の合格者だったので、姉が夫に頼んで学費の援助してくれることになりました。そして高専に入学し、無事卒業できました。

就職はコンピューターの会社でIBMです。何故そこを選んだかと言うと初任給が2番目に高かったからです。一番高い会社は機械関係の会社で、私は電子工学科専攻なので選べなかったのです。IBMは、当時まだ人気がなかった会社なので無事入社できました。給料が良かったので、姉から借りていたお金も2、3年で全

部返すことが出来ました。後は順風満帆で過ごせるはずでした。しかしそれからは、気が緩んで遊び始めました。悪い同僚がいて、しょっちゅうお酒を飲みに行ったり、競馬に行ったりして遊んでいました。ある時これはいかんと想着、「誘った方が全額払うんだよ」と取り決めました。その後、お互いに余り誘う事が無くなり、少しお金が貯まりました。それを頭金にしてマンションを買いました。後は嫁さんを探せば良いかなと思ったのです。

ところが家族の問題が発生し、特に弟と姉のお金の事などの問題で悩んでいました。この時ばかりは、人間と言うのは説教しても文句を言っても変えられないということが分かりました。また会社の仕事でもお客様とうまくいかず悩んでいました。それが原因で体に変化がおき頭の円形脱毛症になりました。馴染みの床屋に行くと髪を真ん中から分けるのでおかしいと思ったら頭に禿が出来ていました。髭にも禿が出来てしまいました。そこで皮膚科の医者に行くと、私がよっぽど深刻な顔をしていたらしく、「頭が禿ました」言ったら医者が笑い出しました。なんだ、この医者はと思ったのですが、そこで治療をうけました。治るのに2年くらいかかりました。

そんなことも有って、婚期は遅れて嫁さんの中々見つからないし、仕事も余り上手く行かなくて悩んでいました。そんな中で、会社が外資系で英語の力を求めているので、英語学校に通う事にしました。その英語学校がセブンスデーアドベンチストの英語学校だったのです。英語のクラス以外に、いつも土曜日の夕方ちょっとした集会のプログラムがありました。英会話の役に立つと思って、時々そこに参加していました。

3 ページに続く



そこに参加しているうちに聖書に親しみを持つようになりました。自分の力ではどうにもならない、特に人の心などは変える事も出来ない事が分かって神様に頼ることになりました。神様を試してはいけないと言いますが、私は実際に試しました。「タバコと酒を止められる様にして下さい。タバコと酒を止められたら洗礼を受けます。」と約束しました。まず無理だろうと思っていましたが、やめることが出来たのです。それで洗礼を受けることを決心しました。当時、金碩萬先生が牧師をされていて、自ら洗礼を受けたいと申し出て洗礼を受けました。

教会員になって数か月もたたないうちに、教会員の姉妹の方々が、私にお見合いの話を持ってきました。そのお見合い相手が今の家内です。私は、婚期が遅れて38歳だったので、これは神様が私のために用意して下さった花嫁だと確信して結婚しました。

ここまでの話は、過去に3回位話をしていきます。今回、その後の話をしようと思ってタラントと言う題を付けました。タラントと言うのは私にとって何だろうという疑問を持っています。聖書にタラントンの話が有ります。ある人が旅行に出かけるとき、僕たちを呼んで、一人には5タラント、一人には2タラント、もう一人には1タラントを預けて旅にでかけました。最初の二人は、それを元手に商売をして

倍に増やしました。ところが1タラント預かった人は、無くなったら困るからと土の中に埋めて隠しておきました。かなり日がたって帰ってきた主人は、もうけた二人には、忠実であったとほめたのですが、もう一人の1タラント預かった人には、怠けものだと言って1タラントを取り上げてしまいました。この主人は、神様を表しています。

私も神様から与えられたタラントを生かそうと思ってお金を増やそうと思いました。今思うと余り良くない考えですが、ある程度の資金が有ったので財テクで儲けようと思いました。経済が順調な時は、それなりに利益を出していたのですが、バブル崩壊とリーマンショックの株式大暴落で投資用の資金をすべて失いました。その後、箴言のみ言葉にこうあるのを知りました。「急いで得た富は減る、少しずつたくわえる者はそれを増すことができる。」（箴言13章11節 口語訳）

そんな訳で私のタラントとは、事務室でプロジェクターを映したり、音楽を録音したり、ホームページを作ったりとか、IT関係のタラントだと思っています。人はそれぞれ神様から与えられた素晴らしいタラントを持っています。これを生かすことが、神様の求めであり、それが自分を幸せにする道だと思っています。

「静まって我こそ神であることを知れ」

千葉キリスト教会 砂長谷 和子

このところ、3.11が8年になるという事で、色々クローズアップして私達が知らない映像が出てきたり、こんなことが有ったんだという事で大変胸を痛めるのですが、ついこの間テレビに出た二人の事をここでお話したいと思いました。そのお一人はその当時おそらく小学校未満の方だったと思います。そして大好きなお姉ちゃんがいたのです。その大好きなお姉ちゃんが津波で命を奪われました。そして、今は中学3年か高校生位になっている、その子が、一台のカメラを持って被災地をトボトボ歩いていました。そしてNHKが追っかけています。そして空を見上げていました。「何かを待ってい

るかのようです。」というアナウンサーの声でした。私は何を待っているのかなと思ってそのテレビを見ました。そうしたら、その雲の間から丁度青空が出て来ました。その青空を待っていたのです。その青空をお姉ちゃんと一緒に見て「青空綺麗だね」と二人が会話を楽しんだ思い出をこれからも持ち続けたいと言う思いで、青空の写真を空に向かって撮っておりました。そういった小さなお子さんが今中学高校になって、そのお姉ちゃんと会いたいと言う気持ち、再会の希望を信じて頂きたいと祈りました。

4 ページに続く



また、もう一人は、看護師になりたかった娘のお母さん。おそらく3月11日ですから、娘は看護師の国家試験に合格していたのでしょう。看護師になりたかった娘のために、そのお母さんが61歳から看護師の勉強をなさるんです。そして一年目落ちました。2年目も落ちました。更に頑張るんですね。そしてその後も合格発表の張り紙を見に行くのですが、番号を探して「ない、ない・・・」と言ってズーッと見て行ったら「・・・有った」という事で合格し、61歳になるお母さんが看護師として今働いているそうです。娘の夢を叶える事が出来たお母さんのお話をテレビでやっていました。

私は今申し上げたように陸前高田もそうですし、千葉県でも旭市がやられましたけれども、そう言った状況の如何を問わず災害が来る、家族が命を失う、そして残される。私達でもそう言った事は一杯あると思うのですが、そんな時に心が平安でいられたらどんなに良いかなと思います。

そこで今日は「静まって・・・」と言う様な題にさせて頂きました。私は朝ここ2年位続いているのですが朝の読み物で大好きなものが有ります。朝目覚ましを5時頃に掛けるのですが、そこでストレッチをやって、5時半から6時頃に起きます。最初に顔も洗わず読む読み物の一つはこれなんです。これはE・Gホワイトの著作の抜粋が出ています。以前から「今日の光」の題名で出版されていたもので、何年も前から読んでいます。

二つ目の読み物は、一緒にアメリカに行った時に、お世話になりましたと言って友人が送って下さった本で、「主の声に耳を澄ます366日」「私は決してあなたを一人にしない」の2冊の本です。そして知人から頂いた「成功の鍵」と言う日めくりをめくり、2冊の読み物との3点セットで、日々力を頂けるよう瞑想しております。そして聖霊に導かれる聖句のある時は、聖書を開いて読みます。「静まって我こそ神であることを知れ」と言うのは詩編46編に有る言葉ですが、やはり静かになっていなければ神様の声も本当の真理の言葉も心に入ってこないのではと思います。聖書「伝道の書」には、「神のなさる事は時にかなって美しい」と有ります。先程言ったカメラで青空を撮っていた娘

さんも、また61歳で看護師の仕事をしてられるお母さんも、きっと心の中に計画が有って、行動に出たと思うのですが、それを押出すような神様の御言葉が有ります。「人の心には多くの計画が有る。しかし主の図り事だけが成る。」聖書「箴言」の聖句です。また「神は御心のままにあなた方の内に働いて、こころごしを立てさせ事を行わせて下さるのです。」ピリピ2章の聖句です。「あなたのしようとする事を主に委ねよ。そうすればあなたの計画は揺るがない。」やはり箴言の聖句です。この様に思い起こさせるのも主であり、その計画を成らせるのも主であると、私の過去30年の信仰生活を通じて確信しています。

私は昭和39年に高校を卒業しました。その二十歳位の時に一所懸命に車の運転やってみたくとか、どんな家に住むようになるのかとか、お金を少々自由に使えるとはどういう事なのかを考えた時期も有りました。でも今現在、私は車に乗ることも自分の家を持つことも出来ています。こんな事出来る訳がないと思っていたものが一つ一つ振り返ってみると、今日を迎えられている訳です。この「静まって」と言う言葉は本当に大好きで、この3点セットをいつも読んでいます。この中に丁度、今日3月9日の読み物に「御霊の実」という聖句が出てきます。私は、愛・喜び・平和・寛容・親切・善意・誠実・柔和・節制といった「御霊の実」をつけて成長出来たら良いなと心から願っています。それは程遠い目標ですが、少しずつでも神様・聖霊様の力を借り、その導きによって信仰生活を揺ぎ無いものにしたいと思っています。

今日の3月9日の読み物をもう少し読ませて頂きます。信仰と言う題です。「信仰とは望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです。」ヘブル書11章1節です。

5 ページに続く



「キリストの元に行くためには信仰を働かさなければならない。わたしたちの毎日の生活の中にキリストがいて下さる必要が有る。そうすればわたしたちは平和と喜びに与るようになる。またキリストの次の言葉の意味を経験によって知るようになる。わたしが父の掟を守り、その愛に留まっているようにあなたがたもわたしの掟を守るなら、わたしの愛に留まっている事ができる。」わたしの掟とは、イエス様の、謙遜になりなさい、偉くなりたいと思う者は謙遜にならないと言ふ戒めです。さらに、本当にその掟を守るならわたしの愛に留まっている事になる、と書いて有ります。「信仰は愛の実践を伴い、魂を清める。聖霊は信仰を通して人の心に働き、それを清めて下さる。聖霊を通して神と交わっていない限り人はキリストの技を行う働き手となる事は出来ない。私達は品性の改変を通してのみ、天国に相応しい者とされる。もし父なる神に近づこうと思うなら私達の信認状としてのキリストの義を頂かなければならない。私達は情欲に染まったこの世の大敗を免れ、神の本質に与る者となる必要が有る。聖霊の影響力によって日毎に造り替えられねばならない。なぜなら比類ないイエス様の魅力を魂に示すことによって美的感覚を高め、心を清め全人格を高尚にするのは聖霊の働きだからです。」「私達はキリストを眺め、眺める事によって変えられねばならない。いくら飲んでも絶えず供給される、開かれた尽きる事のない泉の下に行くように、私たちはキリストの下に行かねばならない。キリストの愛の招きに応答し、天から下った命のパンを食し、神の御座から流れる命の水を飲むべきである。信仰によって神の御座に結ばれるように常に天を見上げているべきである。だから地に縛られているかのように下を向いてはならない。花に根が付いたかどうか調べるように絶えず自分の信仰を引き抜いて調べるようなことをしてはならない。信仰は気付かないうちに成長するものである。」

私は、毎安息日礼拝は教会が一番だと思いますが、教会に来れない時でも、安息日を覚えて、主を拝しなさいと言ふ言葉ををこれか

らも守りたいと思います。

私は、毎週安息日に長老さんが献金のところで読み物を読みますが、その時に次の言葉が私の胸に響いてきます。それは「この会衆一同が一人も虚しく悲しく帰ってはなりません」です。会衆皆一人一人が、この言葉の様な気持ちになって、この会場を立ち去っているだろうと思うのです。お友達が今日も来て下さっていますけれども、その方達の思い・悲しみ・痛み、そう言ったお友達の心の中が本当に軽くなって、平安な気持ちになって教会を後に出来たらと心から願っているところです。

最後に御言葉の中の**イザヤ書 43章1節～4節（口語訳）**を読ませて頂きます。

「ヤコブよ、あなたを創造された主はこう言われる。イスラエルよ、あなたを造られた主はいまこう言われる。『恐れるな、わたしはあなたをあがなった。わたしはあなたの名を呼んだ。あなたはわたしのものだ。あなたが水の中を過ぎるとき、わたしはあなたと共にいる。川の中を過ぎるとき、水はあなたの上にあふれることがない。あなたが火の中を行くとき、焼かれることもなく、炎もあなたに燃えつくことがない。わたしはあなたの神、主である。イスラエルの聖者、あなたの救主である。わたしはエジプトを与えてあなたのあがないしろとし、エチオピアとセバをあなたの代りとする。あなたはわが目に尊く、重んぜられるもの、わたしはあなたを愛するがゆえに、あなたの代わりに人を与え、あなたの命の代りに民を与える。』」イザヤ書 43章4節（新共同訳）にはこうあります。「わたしの目にあなたは価高く、貴く、わたしはあなたを愛し（ている。）」

どうか神様は本当に一人一人を憐れんで下さって、沢山のお恵みをいくらでも止めどもなく頂ける、神様のお恵みが有ると皆さんも信じていらっしゃると思いますが、私も信じております。どうかその神に全てを委ねて、私達の日々の生活を更に豊かなものにして頂けるように、本当に喜んで、感謝して、祈って、毎日信仰生活を歩んで行きたいと思ひます。

有難う御座いました。

SDA千葉キリスト教会 マラナ・タ18 (秋季) 講演会

講演会レポート (2)

講演者、講演題などのご紹介

写真後列左から	講演順	⑤	①	⑩	⑥	⑦
	氏名	吉田 敏英	高幣 義嗣	渡邊 邦男	土屋 輝昌	山本 一
	講演題	聖書の神	宗教とは	祈りと教会	人間とは	十戒
	講演日	11/8 (木)	11/4 (日)	11/15 (木)	11/11 (日)	11/12 (月)
写真前列左から	講演順	④	⑨	③	⑧	②
	氏名	丸山 敦子	根本 弘子	浅川千鶴子	野中 洋子	金田 寛子
	講演題	救いとは	苦しみ の意味	救い主 イエス・ キリスト	死 終末 再臨	聖書
	講演日	11/7 (水)	11/14 (水)	11/6 (火)	11/13 (火)	11/5 (月)



講演順⑥～⑩の講演をぶどうの枝夏号 (今回) に掲載いたします。①～⑤の講演はぶどうの枝春号 (前号) に掲載済です。講演者の素晴らしい講演録をお楽しみください。

マラナ・タ18（秋季）講演会「人間とは」の講演を終えて

千葉キリスト教会 安息日学校副校長 土屋 輝昌

今回、マラナ・タ18講演会の話をお磯部牧師からいただき、まず、最初に思ったことは、自分が、講演してもいいのだろうかという事でした。でも、教会での私の基本姿勢は、依頼を受けたことは神様からのメッセージと思っていますので、すぐに快諾しました。

そして、私の講演題は「人間とは」に決まりました。自分なりにVOPバイブルスクール基礎講座本を何度も繰り返し読み直し、最低限お伝えしなくてはいけない事を頭に入れました。最低限のことをお伝えすることは、私の責任と思いました。

それから、自分の人生や生きざまについて考えてみました。考えていくうちに、一つの結論に達しました。その結論とは、こういうものです。

私は、神様や聖書を固く信じていますが、なぜ信じるようになったのだろう。どのような心の変遷があったのだろう。それを考えていくうちに神様がいないと乗り越えられなかった自分の大きな試練のことを、自然と考えていました。

誰でもあるであろう、いろいろな試練のなかで三つの試練を選びました。それを選んだ理由は、私がクリスチャンになった大きな理由でもあるからです。

そして、その試練を文章にしてみました。文章にしている内に、コリントの信徒への手紙一10章13節の一節「あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず」ということが頭に浮かんできました。本当に、そうだなあと思いながら書き上げました。

最初の試練を書いていると思ったことは、

両親への感謝でした。次の試練では、子どもへの思い、三番目は自分に課した試練だったなと思いながら書きました。

今、こうして講演会を終え思うことは、思ったほどドキドキしないで話すことができ、神様に向かっていけば、導いていただけるということなのかなと思っています。

最後に、私の講演を聴くために遅い時間にもかかわらず、皆さんが教会に来てくれたことは、感謝の一言です。そして私の妻や義母、義妹、義母の友人が、教会に来てくれたことも併せて嬉しかったです。

妻からは、時々「偽善者」と呼ばれていた私ですが、あの講演会が終了してからは、私がクリスチャンになった経緯等も交えて話しましたので、そのような言葉もなくなりました。

私にとっては、いろいろな思いを持ちながら、終えた充実した講演会でした。



「十戒」

千葉キリスト教会 教会会計長 山本 一

私たちが生きて行く上での最高の価値観とは何でしょうか。毎日の生活の中で、何が正しく、何が間違っているのかを考えるとき、良心に正直に生きることが大切になります。その良心も、神様から与えられた偉大な基準「十戒」によって、正しいものへと変えられる必要があります。

「十戒」を要約すると以下ようになります。

第1条「あなたには、わたしをおいてほかに神があつてはならない。」

第2条「あなたはいかなる像も造つてはならない。…あなたはそれらに向かつてひれ伏したり、それらに仕えたりしてはならない。」

第3条「あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。」

第4条「安息日を心に留め、これを聖別せよ。…7日目は、あなたの神、主の安息日であるから、いかなる仕事もしてはならない。」

第5条「あなたの父母を敬え。」

第6条「殺してはならない。」

第7条「姦淫してはならない。」

第8条「盗んではならない。」

第9条「隣人に関して偽証してはならない。」

第10条「隣人の家を欲してはならない。隣人の妻、男女の奴隷、牛、ろばなど隣人のものを一切欲してはならない。」

「十戒」は、第1条から第4条までの「神様と人との関係」と、第5条から第10条までの「人と人との関係」の2つに分けることができます。

「十戒」は字義通りの行為だけではなく、「心の思い」をも戒めています。

「十戒」には人間に対する神様のご意思が明らかにされています。しかしこの戒め

の通りに生きることは、人間の力だけでは実行不可能です。ヘブライ語の原文によると、「〇〇しないであらう」と訳すべきだと言えます。「十戒」とは、決して私たちが救われる条件ではなく、神様の救いに対する私たちの応答としての行いなのです。

「十戒」は2つの役割を持っています。

1つ目は「罪の状態を指摘する」ことです。律法によって私たちは初めて、自分の現実の姿、すなわち罪にけがれた自分を知ることができるのです。

2つ目は「救い主の必要性を示す」ことです。イエス・キリストの十字架は、神様の正義を貫き、律法、「十戒」を確立しました。と同時に、罪ののろいを取り去り、イエス・キリストを信じる人に、律法の有罪宣告から解放しました。律法の前に死と定められた私たちに対して、すなわち救われる希望のなかった私たち人類に対して、愛なる神様は自ら、イエス・キリストを遣わされ、イエス・キリストの十字架の犠牲によって救いの道を開いてくださったのでした。十字架において、神様の義と愛が貫かれたのです。

イエス様は次のようにおっしゃいます。

「もしわたしのいましめを守るならば、あなたがたはわたしの愛のうちにおるのである。それはわたしがわたしの父のいましめを守ったので、その愛のうちにおるのと同じである。わたしがこれらのことを話したのは、わたしの喜びがあなたがたのうちにも宿るため、また、あなたがたの喜びが満ちあふれるためである。わたしのいましめは、これである。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」（ヨハネによる福音書

15章10節～12節）

イエス様の愛に感謝したいと思います。

「死 終末 再臨」

千葉キリスト教会 女執事長 野中 洋子

昨年11月、信徒による十日間講演会が催され、私は「死 終末 再臨」というタイトルで講演しました。その内容は、三部構成で、

第一部は、「神様がいるかどうか分からなかった私が、イエス様と出合っってクリスチャンになったこと」、

第二部は、「小さい頃からの悩み、人は死んだらどうなるかということが、聖書を学び分かったこと」、

第三部は、「再臨が今、近づいていること、神様はわたし達を救うために来るということ」

について話しました。

講演にあたって、分かりやすく話すことができますように、また、語る言葉を与えてほしいと神様に祈りました。

結果は、祈りが聴かれ、皆さん分かりやすかったという評価を頂戴しました。

〔「一般的な死」と「聖書の死」違い〕

一般的な死	聖書の死
霊魂がある	霊魂がない
死んだら天国に行く	死はねむり
復活はない	復活がある
永遠の命はない	永遠の命がある

〔「死」についての聖句〕

「わたしは死の眠りに陥り、」

詩篇 1 3 篇 3 節

「一度だけ死ぬことと、死んだ後さばきを受けることが、人間に定まっているように、」

ヘブル 9 章 2 7 節

「ちり（肉体）は、もとのように土に帰り、霊（息）は、これを授けた神に帰る。」

伝道の書 1 2 章 7 節

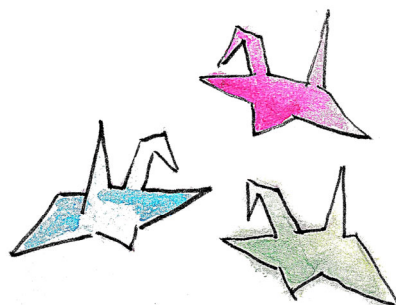
〔「再臨」についての聖句〕

「見よ、彼は、雲に乗ってこられる。すべての人の目、ことに、彼を刺しとおした者たちは、彼を仰ぎ見るであろう。」

ヨハネの黙示録 1 章 7 節

「すなわち、主ご自身が天使のかしらの声と神のラッパの鳴り響くうちに、合図の声で、天から下ってこられる。その時、キリストにあって死んだ人々が、まず最初によりみがえり、それから生き残っているわたしたちが、彼らと共に雲に包まれて引き上げられ、空中で主に会い、こうして、いつも主と共にいるであろう。」

テサロニケ第一 4 章 1 6、1 7 節



「苦しみの意味」

千葉キリスト教会 安息日学校部長 根本 弘子

現代はストレス社会と言われています。仕事、家庭、周りとの人間関係での悩み、日々の生活においても、雨の日も嵐の日もあります。病気などの不幸により人生が中断されるとき私たちは、立ち止まらざるを得ません。

賢者と言われたソロモン王は「順境の日には楽しみ、逆境の日には考えよ」（伝道の書7章14節〈口語訳〉）と聖書の中で述べています。私たちは、逆境においては人生について深く考えるように促されます。聖書には、ヨブをはじめとした、さまざまな苦難を経験した人々が登場しますが、ここではパウロの手紙を通して苦難の意味を考えていきたいと思います。

使徒パウロという人はイエスを迫害し、従った人たちを、容赦なく獄中に送った人でしたが、イエスとの出会いによって誰よりも熱心に宣教者として働いた人です。彼は「思いあがらないように、私の身に一つのとげが与えられました。」と書いています。実際にはどんな問題だったのかはわかりませんがそれはかなりの苦痛をとまなうものであるらしくその痛みが取り去られるようにと神にねがっています。これは、ごく当然の祈りですがパウロの願いは聞き入れられません。すると主は『私の恵みはあなたに対して十分である。私の力は弱いところに完全に現れる。』と、御言葉が与えられました。この神のみ言葉を受け、『それだから、キリストの力が私たちに宿るように、むしろ、喜んで自分の弱さを誇ろう』そして『キリストのためならば、弱さと、侮辱と、危機と、迫害と、行き詰まりとに甘んじよう。なぜなら、私たちは弱い時にこそ強いのです』と力強く言います。

（『』はコリント人への第二の手紙12章9節、10節〈口語訳〉）

また「それだけではなく、患難をも喜んでいる。なぜなら患難は忍耐を生み出し、忍耐は練達を生み出し、練達は希望を生み出すことを、知っているからである。そして希望は失望に終わることはない。」

（ローマ人への手紙5章3節～5節）と、パウロは経験を通して神の恵みはどんな状況でも充分であり、自分たちが弱り切って、どうしようもない状況に置かれたときに、神の本当の力を体験するのだと、私たちに教えてくれます。

私たちがこれ以上落ちることがないというほどの「どん底」に達し、自分の力では何もできない事を認めた時に神の力を体験できるのだと教えてくれます。

私たちが孤独のなかで苦しみもがいている時こそ、神様はそばにいてくださるので



「祈りと教会」

千葉キリスト教会 長老 渡邊 邦男

【教会】

一般的には、教会は、キリスト教における信者の集まりを意味する語である。この語は「公同の教会」、または単位となる信仰共同体を指す意味で使われ、プロテスタントの教会ではキリスト教会という呼称・名称もよく使われる。また、信仰共同体である教会が所有する宗教施設(教会堂)を指す意味および名称として使われる場合もある。

では、実際に教会を構成する私たちは、教会というものをどう理解しているかということになるのですが、私たちは「聖書はどう言っているのか」が物事を理解していくうえで基本となります。

<コリントの信徒への手紙Ⅰ・1章2節>

コリントにある神の教会へ、すなわち、至るところで、わたしたちの主イエス・キリストの名を呼び求めているすべての人と共に、キリスト・イエスによって聖なる者とされた人々、召されて聖なる者とされた人々へ。イエス・キリストは、この人たちとわたしたちの主であります。

<エフェソの信徒への手紙1章22,23節>

神はまた、すべてのものをキリストの足元に従わせ、キリストをすべてのものの上にある頭として教会にお与えになりました。教会はキリストの体であり、すべてにおいてすべてを満たしている方の満ちておられる場です。

二つの聖句で、パウロは、教会は建物が主体ではなく、そこに所属する人々の共同体であり、その人々は神によって召し出され、あるいはキリストによって清められた人々であり、その頭はキリストであると言っているのです。教会は、キリストそのものであり、キリストと共に生きようとする信仰者の共同体であるということが出来ます。

【祈り】

さて、何故人間は誰であっても、自分自身の力ではどうにもならないようなとき、祈らずにはいられないのでしょうか？私の答えは・・・人間がそうするように造られているから・・・です。

<創世記1章:26,27節>

神は御自分にかたどって人を創造された。神にかたどって創造された。男と女に創造された。神は彼らを祝福して言われた。「産めよ、増えよ、地に満ちて地を従わせよ。海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物をすべて支配せよ。」

<創世記2章:7節>

主なる神は、土(アダマ)の塵で人(アダム)を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。

<創世記3章:8~12節>

その日、風の吹くころ、主なる神が園の中を歩く音が聞こえてきた。アダムと女が、主なる神の顔を避けて、園の木の間に隠れると、主なる神はアダムを呼ばれ

た。「どこにいるのか。」彼は答えた。「あなたの足音が園の中に聞こえたので、恐ろしくなり、隠れております。わたしは裸ですから。」神は言われた。「お前が裸であることを誰が告げたのか。取って食べるなと命じた木から食べたのか。」アダムは答えた。「あなたがわたしと共にいるようにしてくださった女が、木から取って与えたので、食べました。」

人が造られた当初、アダムとイブに造られた時は、人は死ぬ者ではありませんでした。永遠に生きる者だったのです。しかし、残念ながら、蛇の誘惑に陥り、禁断の実、善悪を知る木の実をイブは、そしてアダムも食べてしまいました。これが、罪の始まりです。罪は神がしてはいけないということを人間がしてから、人間の歴史に罪が入り込み、人は死ぬ者となってしまったのです。

しかし、罪に陥り墮落してしまったとはいえ、人間は神の息吹すなわち霊が宿る生命体ですから、神の痕跡をその肉体に宿しているのです。

さらに、この創世記で注目すべきは、神は園の中を歩いておられたのです。アダムに、「どこにいるのか」と、声をかけておられます。つまり、神はエデンの園においては、アダムとイブと一緒に時を過ごされていたのです。

この時、アダムは既に禁断の実を食べて、罪人となっています。神に背を向けた反逆者となってしまっていたのです。それゆえアダムは、神を恐れ隠れたのです。

アダムの子孫である私たちの内には、なんとなく神を恐れてしまう、神を厳しい方のように思ってしまう、そのような心の動きがあるのです。

そして、祈りは、「神に近づいていく」「神に近づいていく」という具体的な行為です。つまり、私たちが、自らの意志で、神に近寄っていくこと。神を自分のもとに引き下ろすのではなく、自分が神の御許に昇って行くのです。

<エフェソの信徒への手紙3章12節>

わたしたちは主キリストに結ばれており、キリストに対する信仰により、確信をもって、大胆に神に近づくことができます。

<ヘブライ人への手紙4章16節>

だから、憐れみを受け、恵みにあずかって、時宜にかなった助けをいただくために、大胆に恵みの座に近づこうではありませんか。

神が私たちの造り主であることを信じ受け入れるならば、私たちの祈りは、当然のごとく、神の私たちへの切ないほどの愛と慈しみに対する応答となります。

自分の子が、親の願いに従って応答されるとき喜びを皆様は知っています。それと同様に、私たちを造った神に祈りをもって応答することを、神がどれほど喜ばれるのか、皆さまは分かるはずです。分るのであれば、祈ってください。祈りこそ、私たちを愛してやまない、神への愛の返答なのです。

楽しかった「苺狩り」

千葉キリスト教会 長老 渡邊 邦男

3月3日日曜日の朝、私は雨の降りしき雨中、一路御成り街道を成東へと車を運転していました。

そう、この日は兄弟姉妹たちと「苺狩り」の日だったのです。前夜からあいにくの雨もようで、何とか雨が止むことを祈りながら今日の会場である「小手苺園」を目指して車を運転していたのです。

私の祈りも虚しく、雨は一向にやむ気配もなく、車はやがて今日の苺狩り会場である「小手苺園」に着きました。

駐車場に車を入れてみると、なんと、愛する兄弟姉妹たちが大勢いるではありませんか。

苺狩りの直接の会場はビニールハウスの中ですから、雨をそんなには気にしなくてもよかったのですが、出足が鈍くなるのではと心配していたのです。しかし、それは心配した結果とはなりませんでした。参加者は、教会員が11名、教会員の家族で大人4名、子供9名の総勢24名となりました。

この日の苺狩りの会場である「小手苺園」は、この成東での苺づくりの草分けです。

私の姉の嫁ぎ先である長谷川家の本家に当たる家で、ここの御祖父さんが苺づくりに

挑戦して始めたのが、今日この地方で苺園が盛んになるきっかけとなりました。

毎年、義兄を通じて苺狩りを予約するのですが、いつも、自宅横にあるハウスを使わしていただいています。ここのハウスにはいろいろな種類の苺が栽培されていますので、それぞれ味比べをすることが出来ます。どれもおいしいのですが、微妙に味が違うのでいろいろな苺を食べることが出来て、楽しい時を過ごすことが出来ました。感謝です。

この苺園では、お土産用の苺も午前中で売り切れてしまうので、皆さんに苺狩りをする前にお土産を予約するようにして頂きました。そのため、買いそびれる人は無かったのですが、後から来た他のお客様は買えない人が出ていたようです。

終了後は牧師の祈りをもって解散し、それぞれの自宅へと無事に帰ることが出来ました。

参加者は以下のとおりです。

磯部牧師、磯部姉、渡邊兄夫妻、金田姉、吉田兄、吉田翔兄、丸山姉、浅川姉ご家族、永島姉ご家族、水野兄ご家族、大竹姉ご家族



『苺園で採ったばかりの苺は
「美味しい!」と
笑顔の参加された皆さん

楽しかった初めての「ボウリング大会」

千葉キリスト教会 青年伝道部長 吉田 翔

3月17日（日）春らしい晴天の中、今年度初の青年会主催のボウリング大会を行いました。

はじめての試みということで、人数がそろうかどうか心配だったのですが、初回は11名が集いました。親子参加が2組、中には親子3代で参加される方もおられました。

お祈り、準備運動、始球式をしてからは、3チームに分かれてプレー開始です！

みなさん和気あいあいとボウリングを楽しまれて、いいプレーが出た時にはお互いにハイタッチ☆

参加者の中には若かりし頃にボウリングをよくしていたという方がスコアを伸ばしており、年齢を感じさせない若さ溢れるエネルギーを感じさせられました。

2ゲームを行った結果、好成績を残してトップを飾ったのは0さんでした！

教会の中ではメディア伝道担当としてご奉仕されている0さん、昔、ボウリングが流行った時代によく投げられていたそうで、次々とストライクを出している姿は普段の様子とはギャップがあり、新たな一面がみられました。

楽しい時間はあっという間に過ぎて、お開きとなりました。

今回、日程の都合上で参加できなかった方がいたため、近いうちに第二回も実施できればよいなと思っています。

そして、今年の青年会は、教会内外を問わず活動していこうと思っています。老若男女問わず、交流できる催しを企画していきますので、お声がかかったらぜひとも参加してみてくださいね！



楽しかったボウリング大会での皆さんの笑顔

「チャレンジクッキング」がスタートしました

千葉キリスト教会 児童伝道部長 丸山 敦子

2019年 年から丸山、水野、土屋、井本（良）、子供たちで新規児童伝道部となりました。

エフェソ2章14～16の御言葉「実に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し、一中略—こうしてキリストは、双方を御自分において一人の新しい人に造り上げて平和を実現し、十字架を通して、両者を一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼされました。」

この御言葉を中心聖句として活動していきたいと1月から新たな船出を致しました。

一昨年より女性部で行っていた子供たちとママさんによる“お菓子作り”を児童伝道部とタイアップして新たに“チャレンジクッキング”と命名し奇数月の第四日曜の午後、活動を始めました。“チャレンジクッキング”と命名したのは、色々なことにチャレンジする精神を大人も子供も体験することを目指しています。初めてのことにチャレンジする時、どうしても不安や心

配事が出てきます。そんな時、イエス様に祈り求め、イエス様の方法を模索することによってイエス様にお会いする体験を一度でもすることが目的です。

また、男女の違い、年齢の違いやグループ意識による隔ての壁をイエス様に取り壊して頂き、まだイエス様を知らない方々や子供たちにイエス様を知って頂くチャンスとなればと願っております。

男の子にも興味をもってもらうための新企画“工作作り”、色々な年齢との交わりを目指し、徳永兄姉にも手品披露のご協力をお願いしました。

初めての試みとして教会の子供たちの手作りのチラシを近隣に配布しました。

今後は奉仕の心を体験するために近隣の高齢者施設訪問も考えています。

どれもこれも前任者が培ってきてくださったことに加えて、新たな命と力が必要です。教会の皆様方の心からのお祈りとお支えが必要です。どうか児童伝道部の活動を、皆様の温かな愛の励ましでお支えください。

チャレンジクッキングの写真です



出来上がったケーキを
いただきますーす



工作も楽しみです

デュオリサイタル「すべての人々に平和を」

千葉キリスト教会 コワイヤー 酒井 紀子

第7回チャーチコンサート「黒川正三・文子デュオリサイタル」は2019年4月28日（日）午後2時より千葉教会礼拝堂にて開催されました。10連休の2日目のこの日は朝から晴天となり、多くの皆様にお越し頂き、礼拝堂は満席となり、バルコニー席も一杯となりコンサートは始まりま

した。チェリスト黒川正三さんと、ピアニスト黒川文子さんは曲ごとに分かりやすい説明を加え、心を込めて愛をこめて演奏して下さいました。チェロの奥深い音色とピアノの流れるような美しい響きは相まって、聞いている一人一人の心に沁みわたったのではないのでしょうか。デュオを組んで46年というご夫妻の豊かな音楽を通して、とても大切なものを頂いたように思いました。アンコール曲のパブロ・カザルスの「鳥の歌」は「すべての人に平和を！」とのカザルスの想いが伝わってきて涙しました。

ヘブンズコワイヤーは心からの感動と賛美を以って3曲賛美をいたしました。特に「We Sing Alleluia」は、全員の心が一つとなり神様に音楽をささげ、幸せな思いに満たされました。

森田先生のメッセージは“人は言葉によって救われ、希望を持つことができる”と優しく語って下さいました。また、“音楽もことば”と言われ、“今日は素晴らしい音楽を聴いて希望を持ちました”とお話し下さいました。

お茶会では多くの方々が楽しんでくださいました。多くの方々が黒川先生ご夫妻に感謝と感動の言葉を伝えていました。先生ご夫妻からは「生き生きと輝いて賛美しているヘブンズコワイヤーの姿に感激し涙が出ました」と嬉しいお言葉を頂きました。

第8回チャーチコンサート開催予定は下記の通りです。

皆様のお越しを心からお待ちしております。

第8回 2019年6月23日（日）14：00開演

「賛美のよろこび」

「ヘブンズコワイヤー」のメンバー



「デュオリサイタル」主演者の
黒川正三・文子様



6月、7月、8月の行事

◇ 第8回チャーチコンサート

☆6月23日(日)「賛美のよろこび」 ☆開演:午後2:00 ☆場所:千葉キリスト教会 礼拝堂

☆茶話会(場所は集会室):コンサート終了後は茶話会でお楽しみください。

☆青年コワイヤー、メゾソプラノ歌手菱沼あけみさん、ヘブンズコワイヤーの賛美をお楽しみください。

皆様のお越しをお待ちしております。

◇ 夏期聖書学校

☆開催期間(予定):7月26日(金)7月27日(土)7月28日(日)。土曜宿泊(希望者)の1泊3日。日帰りOK。

☆会場及び宿泊場所:千葉キリスト教会 集会室(3階)

☆対象:幼児、小学生の皆様のご参加をお待ちしております。

☆内容(予定):楽しい催しを企画していますので、沢山のご参加をお待ちしております。

◇ 夏祭りサンセット・カフェ

☆日時:7月又は8月の土曜日 5時30分～7時30分。(開催日など詳細は、後日チラシにてご案内します。)

☆開催場所:千葉キリスト教会 玄関前広場

☆地域の皆様とご家族、シャローム若葉の皆様とご家族、千葉教会員とご家族の皆様が一緒に集い、ビンゴや流しそうめんて夏のひと時を楽しみましょう。

毎月の定期集会(開催場所:千葉キリスト教会 集会室)

◇ 菜食料理講習会

☆日時:毎月、第一月曜日に開催します。午前10時～13時

☆参加費:500円 ☆どなたでもいらして下さい。

◇ 聖書セミナー

☆日時:毎月、第二(黙示録)、第四(創世記)水曜日に開催します。午前10時～11時30分

☆講師:千葉キリスト教会牧師 磯部豊喜

◇ サンセット・バイブル・カフェ

☆日時:1、3、5、7、9、11月の第四土曜日の夕べ開店します。午後5時30分～7時30分

☆心がほっとする聖書の話、素敵な音楽、楽しいおしゃべりなど、癒しの時間を共に過ごすことができればと願っています。軽食とお茶を用意して、皆様のお越しをお待ちしております。

◇ チャレンジクッキング

☆日時:奇数月の第四日曜日。午後1時～3時。

☆対象:子供の皆様(小学生以下は保護者の御同伴をお願いします。)

☆どなたでも御参加下さい。工作づくりもあります。

安息日学校(毎週土曜日)

☆賛美礼拝:午前9:15～9:25

☆聖書の学び:午前9:25～10:40

安息日礼拝(毎週土曜日)

☆千葉キリスト教会:午前11:00～12:00

☆シャローム若葉虹の家:午前9:30～10:10

祈祷会

☆毎週、火曜日夜午後6時及び水曜日朝午前7時30分から祈祷会をしています。

SDA千葉キリスト教会

〒264-0028

千葉市若葉区桜木5丁目15番1号

旧法務局前通り:3、4階 千葉キリスト教会

1、2階 シャローム若葉

電話:043(231)3620

FAX:043(231)1634

Email:sda-chiba@rio.odn.ne.jp

ホームページ:

http://www2.odn.ne.jp/sda-chiba/

★発行責任者:

磯部豊喜 牧師

★スタッフ:

酒井 闊 吉田 敏英

綿引 秀子